

# News Release

(報道発表資料)

2022年7月20日

NTT西日本グループ

## 岡山市水道局とNTT西日本グループの協業による橋梁管路点検の実施について

西日本電信電話株式会社 岡山支店（支店長：西川 智洋、以下、NTT 西日本）<sup>※1</sup>は岡山市水道局（岡山市水道事業管理者：今川 眞、以下、岡山市）とドローンを利用した協業による橋梁添架設備の点検を開始します。なお、ドローンによる橋梁添架設備点検は NTT ビジネスソリューションズ株式会社（代表取締役社長：上原 一郎、以下、NTT ビジネスソリューションズ）<sup>※1</sup>と 株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク（代表取締役社長：柴田 巧、以下、JIW）<sup>※1</sup>が実施します。

※1 NTT 西日本グループ

### 1. 本取り組みの背景

社会インフラは老朽化設備の増加や労働力の不足、設備維持管理コストの増加等の問題を抱えており、これらを解決する取り組みが急務となっています。

これまで橋梁添架設備の点検は添架事業者が個々に実施してきましたが、岡山市と NTT 西日本グループは、ドローンを利用した橋梁添架設備の点検を協業し、業務効率化ならびに生産性向上を行い社会課題の解決に取り組んでいきます。

### 2. 概要

NTT 西日本グループと岡山市が協業し、岡山市内の 4 橋梁において、ドローンを利用し、撮影した画像・動画を用いて通信管路および、水道管路の設備点検を実施します。

NTT 西日本グループでは従来からドローンを利用した通信管路の設備点検を実施しており、この度、通信管路点検に合わせて岡山市の水道管路点検（デジタル臨時行政調査会 見直しプラン PHASE2 相当）<sup>※2</sup>を同時に実施します。また、通信管路向け AI 解析（デジタル臨時行政調査会 見直しプラン PHASE3 相当）<sup>※2</sup>の水道管路への適用検証も行います。

※2 デジタル臨時行政調査会は、デジタル庁による、デジタル改革、規制改革、行政改革に係る横断的課題を一体的に検討し実行することにより、

国や地方の制度・システム等の構造改革を早急に進め、個人や事業者が新たな付加価値を創出しやすい社会とすることを目的とした会議。

PHASE1：目視・実地監査規制、PHASE2：情報収集の遠隔化、人による評価、PHASE3：判断の精緻化、自動化・無人化

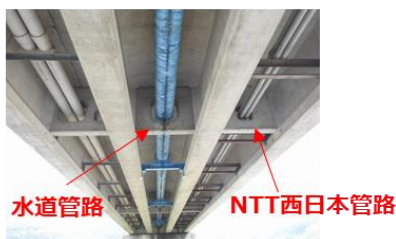
## 従来

船舶／特殊車両を用いた点検を実施



## 今回の取り組み

ドローン飛行により撮影した画像にて共同点検を実施



### 3. 本取り組みの実施時期

2022年8月下旬（予定）

### 4. 対象の橋梁

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| (1) 笹ヶ瀬橋（岡山市南区藤田地内）     | ：橋梁長 約 180m |
| (2) 新鶴見橋（岡山市北区出石町二丁目地内） | ：橋梁長 約 227m |
| (3) 今谷橋（岡山市中区兼基地内）      | ：橋梁長 約 224m |
| (4) 原尾島橋（岡山市中区原尾島地内）    | ：橋梁長 約 163m |

### 5. 本点検業務における各社の役割

岡山市 水道局	：水道管路の管理・維持
NTT 西日本	：通信管路の管理・維持
NTT ビジネスソリューションズ	：プロジェクトマネジメント
JIW	：ドローンによる橋梁添架設備点検、AI 解析

### 6. 今後の展開

AI 解析の更なる高度化による点検業務の効率化ならびに協業点検の拡大を図り、安心・安全な社会インフラの維持に貢献してまいります。